

令和4年度 茨城県就労移行支援技術向上研修 & 個別面談
2022.10.26 オンライン開催

事例 精神で特化したケース



高槻市障がい者就業・生活支援センター
精神保健福祉士 陸野 肇

〒569-0803 大阪府高槻市高槻町4番17号
TEL 072-668-4510 / FAX 072-668-4530 / E-Mail skip4510@tiara.ocn.ne.jp

このコマの流れ

I 事例の概要

II 課題について対応を考える(Gワーク)

場面 I 幻聴や体調悪化への対処

ストレスのダムのツール活用

場面 II コミュニケーション支援

認知行動療法、考え方のクセを変え

るツール活用

III 最後、次回に向けて

I 事例の概要

- 30代半ば 男性 統合失調症 妄想・幻聴有
- 病状のせいで家族とも疎遠
- 他県で1人暮らし発病し帰ってきて入院。退院後、1人暮らし。生活保護受給。
- 薬物療法は持続性注射＋服薬が効果的で病状安定
- 病院の紹介で就業・生活支援センターに繋がり、就労を目指しながらデイケアを利用
- ご自身の考えをきちんと持っており、これまで医療や障害福祉サービスの利用はなく、あまり介入されたくない。
- デイケアを利用しながら、生活リズムは整っており、幻聴なども収まり、ご自身でクローズ就労で就職した

職歴を振り返る・安定した職業生活を送る為に 等で確認・共有できた事

- 転職をいくつかしていたが、働く力(稼ぐ力)は十分にあり(高給取り)、他県で1人暮らしをしていた
- ネット販売の仕事で管理職をしていた
- あまり自分からは話しかけない、仲良くなれないタイプ
- 自身の働く力はあるが管理職でしんどくなり、発病。
不眠 → 被害的になる → 幻聴・妄想のパターンがあった事と、早めの受診や服薬の対処法だと共有
- 持続症状の幻聴は収まりつつあるが、対処法として好きな音楽をイヤホンで聞く
- 働く目的は自分で稼いで生保を抜きたい。休日は映画を観るような生活をしたい
- ただ今は生保でそれ程の給料はいらないし、まずは働き出せたらよいと思っている。管理職はやめておいた方がよいと思う

場面 I

- 就職先 肉まんの製造工場(クローズ就労)
- 求人は短時間勤務可能だったが、実際応募したら、深夜勤務もある職場で、14時～23時迄のフルタイム勤務となった。本人、相談したが採用を優先し了承
- 医療機関や支援者はハードであり心配な事は伝えるが、希望・自己決定を尊重しDrストップまではならない
- 働きだして3週間で幻聴が聞こえる様になった。2週間目に不思議な出来事があり面談で本人が相談してた
- 幻聴「ラインで肉まんが詰まっている」との声。確認すると詰まっていないので、幻聴と分かる。家でも聞こえる。
- 人出不足からか、勤務時間も12時から23時までとなり、さらに状況は悪くなる

就労3週間後に労働時間が長く疲労からか？

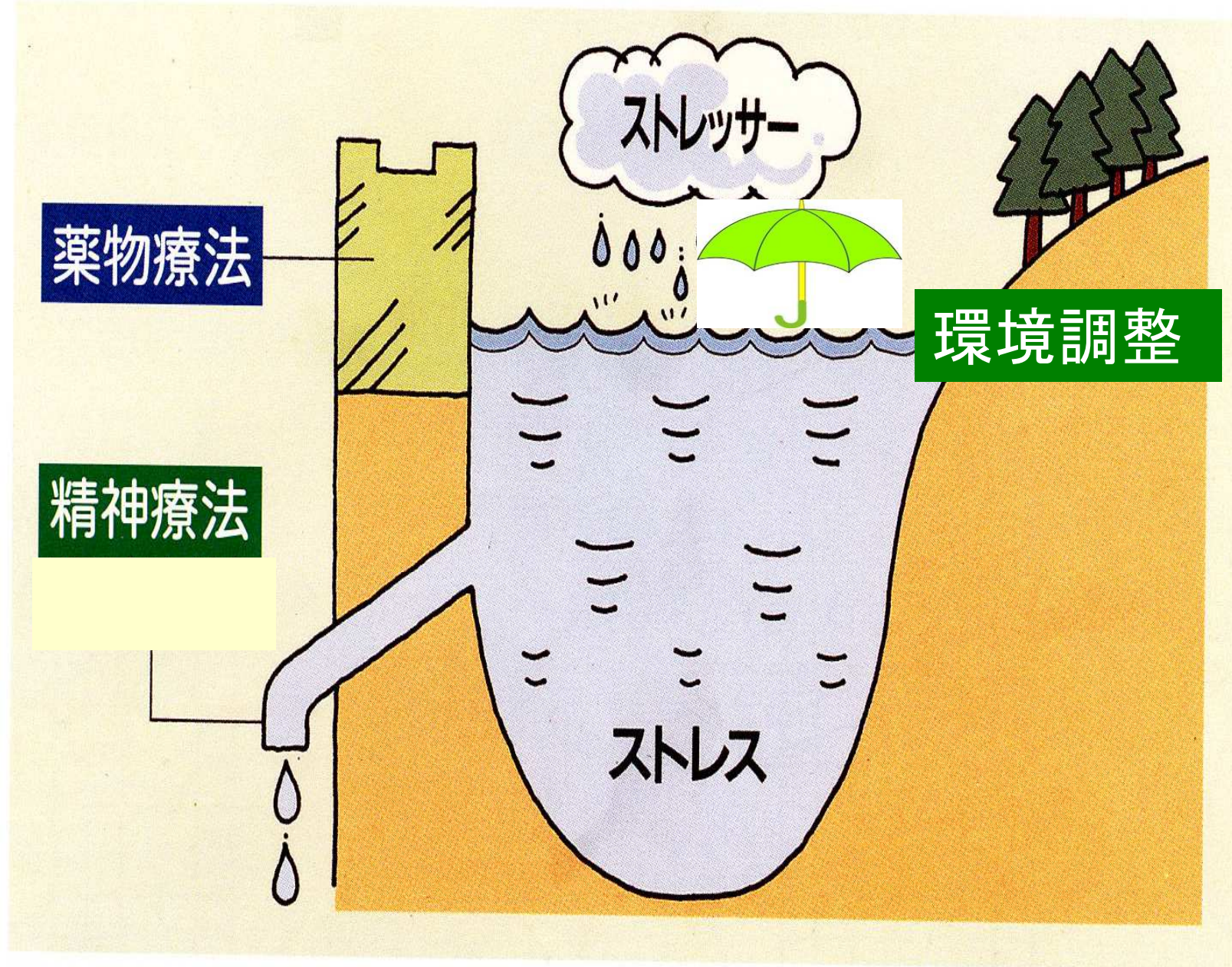
幻聴が悪化し、業務に支障が生じる

(演習の為、オープン就労と過程して考えて下さい)

①薬物療法

②環境調整

③精神療法(ストレス対策や今回で言えば幻聴対策含む)



堤防が決壊すると再発します。(薬はこの再発を防ぐ強い効果があります)

「精神科の症状と薬について」久留米大学 精神神経科編 より

陸野バージョン

結果 1か月で本人から辞めた

- 薬を飲んでなかった
- クローズ就労なので、環境調整でできる事がほとんどなかった
- 精神療法、対処法も働く現場で出来る内容ではなかった。クローズ就労ではなおさら
- でも結果、辞めて正解だった
- 幻聴は就労中1日3~4回、退職後は15~20回。なんで生きてるの？などの言葉まで聞こえる様になる。辞めてからも病状が悪化した

場面 I で伝えたいこと

- 病状が悪化したら退職も選択肢
- でもまずは薬物療法、環境調整、精神療法を実施、休職を提案するのがセオリーで、退職は第一選択肢ではない
- クローズ就労だと出来る事が少ない(けれどもオープン・クローズを選ぶのはあくまで本人)
- 本人も医療機関も就労支援者も、経験しながら自分の、その人の病状や特徴が分かっていく。試行錯誤法
- 本人の希望・自己決定を尊重した試行錯誤がなければ信頼関係は築けない。でも専門家としてのアドバイスは必要。(なので知識は必要)

精神障がい者の1年未満の離職率

- 障害者求人、 オープン
チーム支援あり、適応指導あり 29%
- 一般求人、 オープン
チーム支援あり、適応指導あり 36%
- 一般求人、 クローズ
チーム支援なし、適応指導なし 77%

【出典】独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構障害者職業支援センター
精神障害者の雇用促進のための就業状況等に関する調査研究

一般求人・クローズ就労だと離職率が高く、事例でもあった
支援できる事が少ないのも一要因だと考えられる

場面Ⅱ

- 病状は1年程度かかって安定した
- 今度は支援を受けた方が良くと思い、就労移行を利用。7か所の移行の情報提供。3か所見学し通所開始。PCの資格が取れる移行を本人選択
- 幻聴は残りながら移行通所。頑張り過ぎると幻聴が増え、休みながらPC資格取得。就業・生活支援センターの支援も継続。
- 実習は本人拒否。必要性を感じない。移行は実習を押し付けようとしている。実習を受け入れない自分は支援してもらえないと本人から相談

考え方のクセを変えるコツ

① バランスの悪い考えが浮かんだら、まず立ち止まって違う考えがないかをあげてみる

自分は嫌なのに移行が実習は絶対必要だと押し付けてくる。実習を嫌がる自分は嫌われているし、支援をしてくれないのでもう辞めるしかない

(幻聴はわずかにありますが、演習なので認知行動療法的な対応を考えて下さい)

違う考え

- ・
- ・
- ・

② 浮かんだ考えがバランスが良いかどうかは確認しないと分らない。なので、出来たら確認した方が良い。確認して、悪い考えが違っていたら良かった！！あたっていたら困るけど確認できたら対処ができる。

確認する方法や対処する方法

- ・
- ・
- ・

認知行動療法

- 簡単に言えば、考え方のクセを変えて、必要以上に落ち込むのを防ぐ方法
- 出来事 → 認知 → 精神・肉体的影響 → 行動

例 7つのコラム 認知療法活用サイト 大野裕 発案・監修 より

- | | |
|--------|--|
| ①状況 | 旅行の計画を立てているときに友達とケンカした |
| ②気分 | 落ち込み(85%) 不安(70%) |
| ③自動思考 | 友達を怒らせてしまった。もう仲直りできない。 |
| ④根拠 | 友達は怒った。しばらく連絡がない。 |
| ⑤反証 | 友達は言いすぎたと言っていた。以前にケンカしたときには、後で話し合っ、お互いの気持ちを伝え合うことができ、仲直りした |
| ⑥適応的思考 | 友達が怒ったのは事実だ。しかし言いすぎたといってくれた。それに、以前は仲直りができた。だから一方的に責めなくてもいいし、もう仲直りできないというのは考えすぎだ。よく話し合っ、わかり合うきっかけにできると良いだろう |
| ⑦いまの気分 | 落ち込み(30%)、不安(10%) |



結果 3者面談を実施

- 出たアイデアを実行する為に、本人・移行・就
ポツで3者面談を実施
- 本人、実習をしない考えは変わらず、ただし
実習をしないデメリットとして、就職が決まりに
くいこともきちんと分かってもらった
- 3者面談で実習しない事をきちんと受け止め
てもらえて、押し付けようとしている訳ではな
いと理解。就労移行利用を継続した



場面Ⅱで伝えたいこと

- 信頼関係構築の大切さ、難しさ
- 今回は、就業・生活支援センターが移行への定着を支援したが、移行から就職したら、企業への定着支援していく立場となる
- 寄り添いながらも専門家としてのアドバイスは必要。
- そして自己決定を尊重し、試行錯誤法で本人の納得を重視する

ちょっと
余談ですが

就労支援は クリエイティブなもの

- ジャズみたいなもの
- 基本を押さえよう、その上でアレンジを
- 障害特性と就労支援の基本を理解
- その上で、本人、支援者、企業とアイデアを出し合って、クリエイティブな就労支援をするのが、就労支援の醍醐味です
- あくまで本人の希望・自己決定を大事にて、寄り添う姿勢を忘れずに



最後、次回に向けて

- 今回、精神障がい者の事例で演習をしました
- 就労移行利用前、移行利用中の事例でした
- 会社に入ってから、次回11月の事例でグループワークをして、連携やネットワークを考えます
- 就労支援はクリエイティブなものという感覚で楽しく演習・グループワークをしたいので、よろしくをお願いします
- お楽しみに～、またお会いしましょう